United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

平成２７年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成２７年４月～平成２８年３月

１．学校概要

学校名　気仙沼市立小泉小学校
種　別　□保育園・幼稚園　■小学校　□小中一貫教育
□中学校　□中高一貫教育　□高等学校
□教員養成　□技術/職業教育
□特別支援学校　□その他（　　）
所在地　〒９８８－０３３３
気仙沼市本吉町平貝６３
E-mail　koizumi-sho@kesennuma.ed.jp
Website　www.kesennuma.ed.jp/koizumi-syou/html//
児童生徒数　男子　２６　名　女子　３５　名　合計　６１　名
児童・生徒の年齢　6 歳～　12 歳

２．実施活動（複数選択可）

□　地球規模の問題に対する国連システムの理解
□　国際理解
□　世界遺産
□　平和・人権
■　環境
□　気候変動
□　生物多様性
□　エネルギー
■　防災
□　食育
□　伝統文化
■　そのほか（　福祉　）

３．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について

○　地域の自然や人にかかわりながら，自らの生き方を見つめる児童の育成をめざし，各学年取り組んできている。各学年の活動を以下に報告する。

①１年生　学校探検をする中で，校内の人や施設とのかかわりについて考える活動を行った。特別教室の特徴や学校で働いている職員との触れ合いを通して，学校のよさに気付き親しみをもつことができた。

②２年生　気仙沼地域の中で学区内を流れる小泉川にはサケが遡上する。そこで，小泉サケマス増殖組合の協力を得て，サケの放流や採卵を体験することにより，地域のことを知り，地域のよさに気付き，地域への親しみを持つことができた。

③３年生　地域の水田のまわりに住む生き物を通して自然に触れる活動（環境），学校安全マップをづくり（防災），知的障害者通所施設「みのりの園」との交流（福祉）を行った。

④４年生　学区内の避難所調べを通して防災について考える活動（防災），JA 南三陸の協力を得て大豆を栽培し，豆腐をつくる体験，地域の外尾川の水質調査，気仙沼地方振興事務所の方を講師にした小泉川探鳥会（環境），本吉町の社会福祉協議会の協力を得て，キャップハンディ体験及び視覚障害者の話を聞く活動（福祉）を行った。

⑤５年生　学区内にある津波碑・海嘯碑の記述調べ，建立者から由来を聞き取る活動から，先人の残した思いに触れる活動（防災），地域のワカメ養殖組合の協力を得て，ワカメの種ばさみや収穫の体験を通して，地域の環境や産業を考える活動（環境），学区内にある老人福祉施設「春圃苑」との交流を通して人とのかかわりを考える活動（福祉）を行った。

⑥６年生　　小泉再発見「会津と気仙沼を比べよう」の活動（環境），中学生との合同防災授業でサバ飯〈サバイバル飯〉づくりや防災クイズづくりをする活動（防災），小泉幼稚園との交流（福祉）をする活動を行った。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
□　時間外活動の時間を使用
□　ユネスコクラブの活動として実施
□　その他（　　）